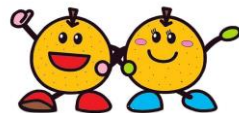


男女共同参画だより

No.33平成28年冬号

今年もあとわずかに
なりました



やちよ

あ

女性の起業応援セミナー

わたしの起業ストーリー

マツダアケミさんと、美容、介護、服飾で起業している女性3人のパネルディスカッションです。

それぞれの現在に至るまでのストーリーに触れながら、みなさんの起業の悩みにお応えします。

2/4(土)1:00~4:15

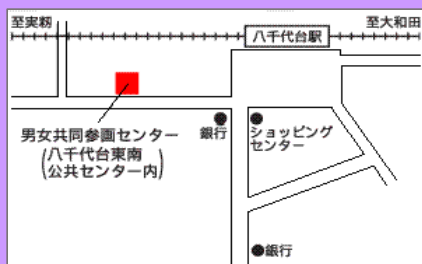
【対象】 市内に在住または在勤の起業初心者か起業に興味がある人

【場所】 男女共同参画センター講習室

(八千代台東南公共センター4階)

【参加費】 100円 【保育】 2~6歳児、先着5人(要予約)

【申し込み】 電話・直接窓口・メール(件名に講座名、本文に氏名、年齢、電話番号、住所を記載)



発行:八千代市

男女共同参画課

☎047-485-7088

男女共同参画センター

☎047-485-6505

住所:八千代市八千代台南 1-11-6



男性の講座あれこれ



■**男の料理ビギナーズ編「買い物から後片づけまで」** 11月5・19日(土)の全2回で開催しました。1回目は、鮭のホイル焼き・即席漬け・みそ汁・ごはん。2回目は、豚肉のしょうが焼き・切干大根の和え物・かき玉汁・ごはんでした。料理は作れるけれど、片づけが苦手という男性が多いとか。最期にまとめて片すのではなく、手の空いた時間を使って、料理と同時進行で洗い物もするように心がけました。



■**男の雑学塾** 8月24日(水)から10月5日(水)まで全6回の企画でしたが、新川周辺史跡廻りが雨天で中止になったため、5回の実施となりました。市の歴史・自然や健康づくりなど、さまざまな分野について学びながら、自分が地域でできることについて考えました。

■**パパと作るランチプレート** 12月3日(土)小学校低学年の父子で、クリスマスにちなんだレッドピラフ、テリマヨチキン、デザートなどを作りました。お父さんと一緒に料理を作るのは初めてという子がほとんどでしたが、野菜の切り方などを一つ一つ教えてもらいながら、楽しくおいしく作ることができました。



女性学公開講座

愛と平和を願って

童画を描き続けた岩崎ちひろ

11月22日(月)にらいてうの会と共催で、女性学講座を開催しました。

講師は女性史研究者でNPO 法人平塚らいてうの会などで活動され、長年当センター事業に協力していただいている折井美耶子氏。

3人姉妹の長女として育った岩崎ちひろの生い立ちや、不幸な結果となった最初の結婚、選挙ポスターが絵を描くきっかけだったことなど、興味深いお話でした。



後半には当時の写真などを使った資料映像も。会場に並べられた岩崎ちひろの絵本を手にとって、講師の話とリンクさせながら、平和を願う作者の気持ちを感じていた人もいました。



男性も介護する時代です

男性の介護講座「ケアメンになろう」

男性の介護講座「ケアメンになろう」全3回を開催します。少子高齢化が進み、家族の介護をする男性が増えています。

自分が家族の世話をしなければならなくなった

とき、どうすればよいのでしょうか。ベッドを使った介護の実践や基本知識、介護家族の話などを通して、身近な問題として考える初心者向けの講座です。

■2月13・20・27日(月)1時30分～3時30分、参加費100円、申し込みは1月5日(木)から当センターで



あなたの大事な人の

“ワーク・ライフ・バランス”は大丈夫？

最近、過労自殺のニュースをよく耳にします。長時間労働が続くと、身体的にも精神的にも疲れが溜まります。毎日が仕事ばかりでひたすらきついで、リフレッシュできなくなります。仕事への意欲がわなくなり、能率が下がります。状況が悪化すると、病気になったり、追い詰められて死に至ったりすることもある。ワーク・ライフ・バランスとは、自分にとって最適な割合で、仕事と

自分の時間とを両立できることです。仕事だけではなく自分の時間を持つことで、オンとオフのメリハリができて生活に張ります。その結果、仕事とプライベートの両方にプラスになり、生き生きと生活ができるわけです。あなたの大事な人のワーク・ライフ・バランスは大丈夫ですか？



「女性の日記から学ぶ会」

島代表が水木十五堂賞を受賞

今年結成20周年を迎えた「女性の日記から学ぶ会」代表の島利栄子さんが、奈良県大和郡山市の第五回水木十五堂賞を受賞しました。この賞は、歴史、伝統文化、自然など様々な分野において「蒐集」を行いながら博識を持って社会に貢献した人を表彰するもので、過去には荒俣宏氏や市川猿之助氏などが受賞されています。女性が選ばれるのは初めてのことで、受賞式は1月29日(日)に大和郡山市で行われます。

男女共同参画のお話し



外壁工事中でロビーが真っ暗です。少しでも明るい雰囲気にと、職員がクリスマスの飾りつけをしました。早いもので、もう師走。一年があっという間に過ぎ去ろうとしています。今年やろうと思ったこと、ちゃんとできたかな。日々の積み重ねが大切なんです、これがなかなか難しい。先日、女性学講座で岩崎ちひろさんが55歳で亡くなられたことを知り、写真を見てその若さに驚きました。今できることを今頑張らなければと思いました。皆さん、今年もお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



サンカク△通信 VOL 1

男女共同参画社会を実現しましょう。

男女共同参画 街かどアンケート

今回は公民館などで活動している子育てママに聞いてみました。

①男女共同参画という言葉を知っていますか？

知っている 14 人 知らない 45 人

②男女が不平等だと感じることはありますか？

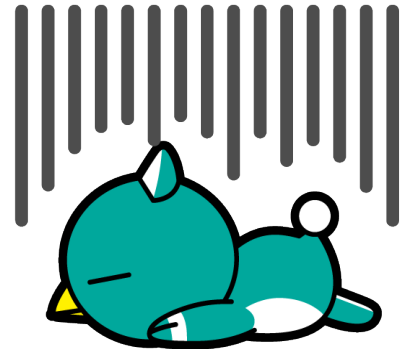
感じる 40 人 感じない 17 人

不平等と感じる理由の中に、夫が家事をしないという意見がありました。カジダン※という言葉もあるように、昔と比べると、家事をする男性も増えてきました。しかし、未だに家事は女性がやるものという意識が、男性だけでなく女性にもあるようです。男女が共に尊重しあい、助け合うことが大切です。

※ 家事をよくやる男性のこと



ぐでっ...



ずいぶん悪い結果が出てしまいました。今後はこのアンケートを通して、男女共同参画の大切さを広くお知らせしたいと思います。やっちもあまりの結果に、何だか元気が無さそうです。

お知らせ掲示板

男女共同参画センターでは女性の再就職や起業応援セミナー、男性の介護講座、男の雑学塾など男女共同参画に関する、いろいろな主催事業を実施しています。募集は広報やちよや市ホームページ、ポスターなどで随時行っています。ぜひ参加してみてください。主催事業の様子を、市ホームページ内「男女共同参画センター主催事業アーカイブス」で、参加したみなさんの感想などといっしょに掲載しています。

男女共同参画川柳

病んで知る 妻の背中の たくましさ

八千代台東南公民館登録サークル 八千代鶏鳴川柳会 林 博之さん